

## 2023 年度 活動報告

### 事業概要

より安心して子どもを生み、子育てできるように、母子保健や・医療・福祉・教育・企業等の関係機関が協力、連携し、多様な泉質を擁する別府ならではの機能温泉浴を利用することで母親が身体的な回復、心理的な安定をはかり、各専門職のサポートを受け、育児のセルフケア能力を身に付けることを目的に、母子とその家族が健やかな育児支援を受けられる環境づくりを行う事業。

### 事業内容

#### ① のんびり、湯ったり温泉施設で産後ケア

温泉施設を利用した新たな産後ケアサービスの展開を行うことで、「観光資源の活用」や「地域のヘルスケア意識の向上」に取り組み、母親の「孤独な出産、育児」を回避し、「安心」と「つながり」を提供する。

別府ならではの強みである「温泉（湯治）」をサービスに取り入れ、別府版の産後ケア事業を実現し、さらには助産師だけでなく看護師や保健師、理学療法士などもコミュニティーに加え、地域の総合的なヘルスケアの向上を目指す。

・日時、回数

2023 年 5 月～2024 年 1 月

10:00～16:00 全 45 回開催

・場所

観海寺温泉 いちのいで会館 〒874-0829 大分県別府市上原 14-2

・対象者

産後 1 年未満の母子、父親の参加も可

「産後ケア」自体周知されていない現状からのスタートでしたが、連携支援先や行政にチラシの設置の協力をいただきました。広告宣伝はチラシ・SNS での発信でしたがママたちの口コミ等も加わり、多くのママたちに「産後ケア」というサービスが周知できたと感じています。実際、申し込み時は 4000～5000 件の電話があり、利用後のアンケート調査では、「満足して利用できた」と 100%の回答をいただきこの「産後ケア」サービスを多くの母親が求めていることを実感しました。

孤立感を抱えている母親を一人でもなくすよう、この事業に取り組みました。個別の支援ニーズに寄り添えるよう参加者ひとり一人と話す時間を作り、スタッフチームと共有していました。深刻な問題を抱えている場合は、各自治体の担当者に連絡し、情報の共有を行いました。

この事業は、自治体と連携することが不可欠なので、今後も継続していけるようより連携を強化し、自治体から予算を捻出できるよう働きかけていきたいです。

# 令和5年度収支決算書

2023年4月1日 ~ 2024年3月31日

## 収入の部

費目名	内訳	金額
雑収入	WAM助成	5,177,000
雑収入	豊和銀行助成金	200,000
雑収入	自己資金	26,157
合 計		5,403,157

## 支出の部

費目名	内訳	金額
謝金	講師謝礼	150,000
旅費	視察旅費（別府⇄神戸） 往復4人分	145,100
賃金	職員、アルバイト賃金	1,797,750
消耗品費	文房具類、ベビースケール、ベビーおもちゃ等	385,845
借料損料	施設利用料 20000円×46回 2600円×3回	927,800
印刷製本費	チラシデザイン、印刷代	209,275
委託費	業務委託講演、ホームページ管理料	1,704,545
雑役務費	振込手数料等	2,577
保険料	損害保険料	30,265
広告宣伝費	SNS宣伝	50,000
合 計		5,403,157